研修カリキュラムチェック表（初任者・通学・実習あり）

合計１３０時間

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
| 科　目 | 時間数 | 項　目 | 時間数 |
| １ 職務の理解(６時間) |  | （１）多様なサービスの理解 |  |
| （２）介護職の仕事内容や働く現場の理解 |  |
| ２ 介護における尊厳の  保持・自立支援  (９時間) |  | （１）人権と尊厳を支える介護 |  |
| （２）自立に向けた介護 |  |
| ３ 介護の基本(６時間) |  | （１）介護職の役割、専門性と多職種との連携 |  |
| （２）介護職の職業倫理 |  |
| （３）介護における安全の確保とリスクマネジメント |  |
| （４）介護職の安全 |  |
| ４ 介護･福祉サービスの  理解と医療との連携  (９時間) |  | （１）介護保険制度 |  |
| （２）医療との連携とリハビリテーション |  |
| （３）障害福祉制度及びその他制度 |  |
| ５ 介護におけるコミュニ  ケーション技術  (６時間) |  | （１）介護におけるコミュニケーション |  |
| （２）介護におけるチームのコミュニケーション |  |
| ６ 老化の理解(６時間) |  | （１）老化に伴うこころとからだの変化と日常 |  |
| （２）高齢者と健康 |  |
| ７ 認知症の理解(６時間) |  | （１）認知症を取り巻く状況 |  |
| （２）医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 |  |
| （３）認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 |  |
| （４）家族への支援 |  |

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| ８ 障害の理解（３時間） |  | （１）障害の基礎的理解 | |  | |
| （２）障害の医学的側面、生活障害、心理･行動の特徴、  かかわり支援等の基礎的知識 | |  | |
| （３）家族の心理、かかわり支援の理解 | |  | |
| ９ こころとからだのしくみと生活支援技術  （７５時間） |  | ア基本知識  の学習  (10～13 時間  程度) | （１）介護の基本的な考え方 |  | |
| （２）介護に関するこころのしくみの  基礎的理解 |  | |
| （３）介護に関するからだのしくみの  基礎的理解 |  | |
| イ生活支援  技術の講義・  演習  (50～55 時間  程度) | （４）生活と家事 |  | |
| （５）快適な居住環境整備と介護 |  | |
| （６）整容に関連したこころとからだの  しくみと自立に向けた介護 |  | |
| （７）移動・移乗に関連したこころと  からだのしくみと自立に向けた介護 |  | |
| （８）食事に関連したこころとからだの  しくみと自立に向けた介護 |  | |
| （９）入浴、清潔保持に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 |  | |
| （10）排泄に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 |  | |
| （11）睡眠に関したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 |  | |
| （12）死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 |  | |
| ウ生活支援  技術演習  (10～12 時間  程度) | （13）介護過程の基礎的理解 |  | |
| （14）総合生活支援技術演習 |  | |
| 実　習 | 実習**（７５時間のうち１２時間を上限）**  　※(1)～(14)＋実習(12時間)＝75時間 |  | |
| １０ 振り返り（４時間） |  | （１）振り返り | |  | |
| （２）就業への備えと研修修了後における継続的な研修 | |  | |
| 計　１３０時間 |  |  | | |  |